



ROCK PAINT

合成樹脂エマルジョンペイント

031・032ライン

ビニロック®

環境に配慮した水性塗料!!  
VOC量は  
(社)日本塗料工業会の  
目標基準1%以下を  
クリア!!

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます。

非トルエン・キシレン塗料

(社)日本塗料工業会 室内環境対策  
のVOC自主表示ガイドライン~「非  
トルエン・キシレン塗料」~に適合



ロックペイント 株式会社

◆特長

F☆☆☆☆

- アクリルエマルジョン樹脂をベースとした**内部用**エマルジョンペイントです。
- 塗りやすく、トマリの良いツヤ消しエマルジョンペイントです。
- 塗装方法による色差が非常に小さく、タッチアップ性がすぐれ、ムラなくきれいに仕上がります。
- 耐水性、耐洗浄性などの塗膜性能にすぐれています。
- 耐アルカリ性が良好で、コンクリート、モルタルなどによく付着します。
- 防カビ剤入りのため、カビが生えにくくなっています。
- 国土交通大臣認定 防火材料[NM-8585/不燃材料、QM-9816/準不燃材料、RM-9364/難燃材料、塗料塗装（一社）日本塗料工業会]です。
- （一社）日本塗料工業会の目標水準VOC 1%以下の低VOC塗料です。

◆被塗物素材

- コンクリート・モルタル・せっこうボード・ALCなど  
(注：素地の種類によって、下地調整が必要になります。)
- 木部、合板類(\*) (ただし浴室、台所などの常時水のかかる場所を除く。)

◆製品要項

品番・品名	031-0055 ビニロック 内部用ホワイト
主な用途	戸建住宅、集合住宅、商業施設など建築物内部壁面
規格	JIS K 5663 2種
容量	20kg
標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> ・回)	0.11~0.13
標準塗布面積(m <sup>2</sup> /缶・回)	154~182
希釈剤	水
希釈割合(重量)	ハケ・ローラー：10~20% エアレス：15~25%
標準塗装回数	2
指触乾燥時間(23℃)	30分
塗り重ね可能時間(23℃)	2時間以上

※調色には、ビニロック原色またはロックトーンカララント7000(ホワイトの10%以内)を使用してください。  
 ※031-0055は、開缶して詰め替えをした場合や、缶内調色をした場合は、JIS品としての表示、販売ができませんのでご注意ください。また比較的淡彩色の調色でJIS表示が必要な場合は、その旨をお問い合わせください。  
 ※塗装仕様がJIS仕様の場合、下塗り塗料もJIS適合品をご使用ください。  
 (\* ) ベニヤ板などの木製品に塗装する際は、シミなどが浮き出たりする場合がありますので、適切な下地調整を行ってから施工してください。

◆性能

JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンペイント 2種(主として屋内用)

項目	規格	試験結果	
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。	合格	
塗装作業性	2回塗りで、塗装作業に支障があってはならない。	合格	
低温安定性(-5℃)	変質してはならない。	合格	
乾燥時間	標準状態	2時間以内	合格
	5℃	4時間以内	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格	
隠ぺい率%(白及び淡彩)	95以上	合格	
耐アルカリ性	18時間浸したとき異常がないものとする。	合格	
耐洗浄性	100回の洗浄に耐えるものとする。	合格	



◆特長

F☆☆☆☆

- アクリルエマルジョン樹脂をベースとした**内外部用**エマルジョンペイントです。
- 塗りやすく、トマリの良いツヤ消しエマルジョンペイントです。
- 塗装方法による色差が非常に小さく、タッチアップ性がすぐれ、ムラなくきれいに仕上がります。
- 耐候性、耐水性、耐洗浄性などの塗膜性能にすぐれています。
- 耐アルカリ性が良好で、コンクリート、モルタルなどによく付着します。
- 防カビ剤入りのため、浴室、台所などの湿度の高い場所に塗装しても、カビが生えにくくなっています。
- 国土交通大臣認定 防火材料[NM-8585/不燃材料、QM-9816/準不燃材料、RM-9364/難燃材料、塗料塗装（一社）日本塗料工業会]です。

◆被塗物素材

- コンクリート・モルタル・せっこうボード・ALCなど  
(注：素地の種類によって、下地調整が必要になります)
- 木部、合板類（\*）

◆製品要項

032ライン ビニロックには次の2種類があります。

品番・品名	032-0100 ビニロック 内外部用ホワイト	032-0101 ビニロック101 内外部用ホワイト
特長	耐久性、塗装作業性にすぐれた標準品です。	特に耐水性、耐アルカリ性、耐洗浄性がすぐれています。
規格	JIS K 5663 1種	—
主な用途	戸建住宅、集合住宅、商業施設など建築物内外部壁面、台所、浴室の壁面	
容量	20kg	
標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> ・回)	0.11~0.13	
標準塗布面積(m <sup>2</sup> /缶・回)	154~182	
希釈剤	水	
希釈割合(重量)	ハケ・ローラー：10~20% エアレス：15~25%	
標準塗装回数	2	
指触乾燥時間(23℃)	30分	
塗り重ね可能時間(23℃)	2時間以上	

※調色には、ビニロック原色またはロックトーンカララント7000(ホワイトの10%以内)を使用してください。

※032-0100は、開缶して詰め替えをした場合や、缶内調色をした場合は、JIS品としての表示、販売ができませんのでご注意ください。また比較的淡彩色の調色でJIS表示が必要な場合は、その旨をお問い合わせください。

※塗装仕様がJIS仕様の場合、下塗り塗料もJIS適合品をご使用ください。

(\*) ベニヤ板などの木製品に塗装する際は、シミなどが浮き出たりする場合がありますので、適切な下地調整を行ってから施工してください。

◆性能

JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンペイント 1種(主として屋外用)

項目	規 格	試験結果	
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくで一様になるものとする。	合格	
塗装作業性	2回塗りで、塗装作業に支障があってはならない。	合格	
低温安定性(-5℃)	変質してはならない。	合格	
乾燥時間	標準状態	2時間以内	合格
	5℃	4時間以内	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格	
隠ぺい率%(白及び淡彩)	93以上	合格	
耐水性	96時間浸したとき異常がないものとする。	合格	
耐アルカリ性	48時間浸したとき異常がないものとする。	合格	
耐洗浄性	500回の洗浄に耐えるものとする。	合格	
促進耐候性 (キセノンランプ法)	JIS K 5600-7-7の6 方法1(湿潤サイクルA)240時間照射後、白亜化度の等級は1以下で、膨れ、はがれ及び割れがなく、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	合格	
耐候性	12か月の試験で、膨れ、はがれ及び割れがなく、色の変化と白亜化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	合格	

## ◆標準塗装仕様

主として内部のコンクリート、モルタル面

工 程	使 用 塗 料	希釈剤	塗装方法・ 希釈率(%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗り重ね 可能時間 (23℃)
素地調整	エフロレッセンス、レイタンス、ゴミ、汚れなどをワイヤーブラシ等で除去し、清浄な面にしてください。 新設のコンクリート、モルタル等はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH9.5以下になってから塗装を行ってください。 旧塗膜の浮き、はがれ、白亜化した部分は、皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具で完全に除去してください。					
下 塗	033-1100 エマルジョンホワイトシーラー (JIS K 5663 規格品)	水	ハケ、ローラー : 75~100 エアレス : 100	1	0.06~0.10	2時間以上
上 塗	031-0055 ビニロック 内部用ホワイト (JIS K 5663 2種 規格品)	水	ハケ、ローラー : 10~20 エアレス : 15~25	2	0.11~0.13	2時間以上

主として外部のコンクリート、モルタル面

工 程	使 用 塗 料	希釈剤	塗装方法・ 希釈率(%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗り重ね 可能時間 (23℃)
素地調整	エフロレッセンス、レイタンス、ゴミ、汚れなどをワイヤーブラシ等で除去し、清浄な面にしてください。 新設のコンクリート、モルタル等はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH9.5以下になってから塗装を行ってください。 旧塗膜の浮き、はがれ、白亜化した部分は、皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具で完全に除去してください。					
下 塗	033-1100 エマルジョンホワイトシーラー (JIS K 5663 規格品)	水	ハケ、ローラー : 75~100 エアレス : 100	1	0.06~0.10	2時間以上
上 塗	032-0100 ビニロック 内外部用ホワイト (JIS K 5663 1種 規格品)	水	ハケ、ローラー : 10~20 エアレス : 15~25	2	0.11~0.13	2時間以上

(注1) 標準塗付量はハケ、ローラー塗りの場合の値で、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。また、塗装方法、被塗物の形状、環境などによって増減する場合があります。吸い込みの多い部材については標準塗付量より多くなります。  
(吸い込みの著しい部材には、ロックカチオンシーラーマルチⅢなどを使用してください。)  
また公共建築工事標準仕様に準拠した施工を行う場合、規定の塗付け量と上記の標準塗付量が異なる塗料については、公共建築工事標準仕様に規定された塗付け量にてご使用ください。

(注2) 塗り重ね可能時間(乾燥時間)は塗装現場の温度、湿度、風通し、素地の状態などにより多少変わります。

シーラーは上記の033-1100 エマルジョンホワイトシーラー **F☆☆☆☆** 以外に被塗物、素地の状態などにより、以下のシーラーを使用してください。

被 塗 物	品 番	製 品 名	ホルムアルデヒド 放散等級
塗り替え塗装や、せっこうボード、 けい酸カルシウム板など	033-1179	ロックカチオンシーラーマルチⅢ	<b>F☆☆☆☆</b>
	033-1160	ロックカチオンシーラーマルチ ホワイト	<b>F☆☆☆☆</b>
室内のコンクリート、モルタル、 ビニルクロスなど	033-1701	ビニロックV.O-IIシーラー(室内環境対応型)	<b>F☆☆☆☆</b>
塗り替え塗装や、強アルカリ性の 素地、脆弱な素地〔主に屋外用〕	033-5150 033-5910	ユメロックシーラー(弱溶剤二液型)	<b>F☆☆☆☆</b>

(注) **F☆☆☆☆** 仕様の場合、すべての工程においてホルムアルデヒド放散等級**F☆☆☆☆** の材料を使用します。  
**F☆☆☆☆** 以外の材料(被塗物、素材も含む)を使用したり、各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、**F☆☆☆☆** 仕様でなくなることがありますので注意してください。

# 032ライン ビニロック 原色

## ◆特長

- 着色力、色の安定性にすぐれています。
- ホワイトと同様の塗膜性能が得られ、一部原色を除き単独使用も可能です。(032-0022 シアニンググリーン、032-0032 シアニンブルーを除く)

## ◆用途

031、032ライン ビニロック、034ライン ビニロックリシンの調色用。(031ライン ビニロック<sup>バイオ</sup>V.O-II、ビニロック<sup>バイオ</sup>V.Oスーパーの調色には使用できません。)

## ◆製品要項

品番	色名	容量	調色適性			
			淡彩	中彩	濃彩	原色
032-0005	オキサイドレッド	20kg、3L	○	○	○	○
032-0014	レッド	3L	—	○	○	○
032-0017	エロー	20kg、3L	—	—	○	○
032-0022	シアニンググリーン	3L	○	○	—	—
032-0025	ブラック	20kg、3L	○	○	○	○
032-0030	オーカー	20kg、3L	○	○	○	○
032-0032	シアニンブルー	20kg、3L	○	○	—	—

### ■施工上の要点・注意事項

- 塗る面のゴミ、かび、こけ、油分などの汚れやはがれかかった塗膜はよく取り除き、乾いた清浄面にしてください。(含水率10%以下、pH9.5以下)
- 気温または躯体温度が5℃以下の場合や湿度85%以上の場合、並びに被塗面が結露しているとき、また塗装後2~3時間以上気温が5℃以上を保てない場合の塗装は避けてください。造膜不良の原因となるばかりか十分な塗膜性能が発揮されないことがあります。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装は避けてください。
- 塗膜が完全に乾燥する前に、降雨、結露等がありますと、白化やシミが残る場合があります。また、低温時や高湿度、通風が悪い場合も白化やシミになる場合があります。
- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。
- 改修塗装の場合、素地の種類によって塗膜不良となる事があります。あらかじめ適切な処理を行い、試し塗りを行った後、仕様を決めてください。
- 吸い込みが激しい面には、ロックカチオンシーラーマルチⅢなどを下塗りしてください。また、けい酸カルシウム板に塗装する場合も、ロックカチオンシーラーマルチⅢなどを下塗りしてください。ただし、素材、劣化度合いにより、付着不良を起こす場合がありますので試し塗りをした上で、本塗装を行ってください。
- クレーヤー分が浮いている場合がありますので、使用前に塗料を底から十分によくかき混ぜて、均一な状態にしてください。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、塗膜不良となることがあります。また、各工程において、当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- 塗装時および塗装後は換気をよくしてください。密閉した室内では乾燥が遅くなります。また、水のかかる場所は塗装後換気を良くし、24時間以上(23℃の場合)乾かしてからご使用ください。(常時水のかかる場所には塗装できません。)
- 飛散防止のため、必ず養生を行ってください。
- 旧塗膜が弾性系の塗膜(弾性リシン、弾性スタッコ)やアクリル樹脂エナメルなどの場合、すでにふくれが発生していることがあります。そのまま塗装するとふくれが拡大することがありますので、ふくれ箇所は完全に除去してください。
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業系サンディング、その他断熱性が付与された建材など)を使用した高断熱型住宅の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、素地の変形、塗装のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- コンクリート、モルタル面に素穴や段差、ひび割れがある場合には、セメントフィラーで処理してください。
- せっこうボードなどに軽度の素穴や段差、ひび割れがある場合は、合成樹脂エマルションパテで処理してください。(水のかかる箇所には使用できません。)
- 室内で水のかかる箇所には、下地に合成樹脂エマルションパテを使用しないでください。セメントフィラー等をおすすめしますが、エフロレシンスが発生する場合がありますので養生期間は十分にとってください。
- 下地、旧塗膜が脆弱な場合、また素地が強アルカリ性であることが予想される場合は、弱溶剤型シーラーを使用してください。(屋内の塗装では弱溶剤型シーラーはできる限り控えてください。やむを得ず弱溶剤型シーラーを使用する場合は、火気とVOCの放散に十分注意し、十分な換気を行ってください。)
- 塗装中及び塗装後、低温、高湿度、通風のない場合は白化し、しみが残ることがあります。
- 付着性の悪い素地への塗装は避けてください。
- シーリング材への塗装は、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、収縮割れなどを起こしたり、表面が汚れてくる場合がありますので塗装は避けてください。やむを得ず塗装する場合、シーリング材が完全に硬化後、シーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマー-S」を塗装してください。またプライマーで処理してもシーリング材の種類によっては汚れ、付着不良、剥離、収縮割れが発生する場合があります。
- 塗装方法により多少色相が異なる場合がありますので、入り隅のハケ、ローラーの目目はできるだけ奥までローラーで塗装してください。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗り場合は、同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- 繊維質の壁や耐火被覆されているような表面が脆弱した被塗物には塗装できません。
- 室内の旧塗膜がアルキド樹脂系の場合は、塗り替える前に表面あらしを行ってください。
- シーラーを吸い込みの著しい部材に塗装する場合、「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装を行ってください。
- シーラー塗装する場合は、塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすことがあるため、塗り重ね可能時間を守ってください。
- シーラー塗装は乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- 色相により、水滴などがかかるとぬれ色になることがあります。乾燥すると元に戻ります。
- 乾燥した塗膜に付着した汚れは、シンナーなどで拭かず、中性洗剤で洗浄してください。
- 旧塗膜がつや有り仕上げの場合、条件により適正がない場合がありますので、あらかじめ試し塗りをしてから施工してください。また、弾性系塗膜の塗り替えには使用できません。
- 水系塗料においては、ウエス等で強く擦ることで色が付着する場合があります。強く擦られることが考えられる部位への塗装は、なるべく避けてください。
- ヤニの付着が著しく、汚れがひどい場合には、中性洗剤を用いてできるだけヤニなどを除去し、十分乾燥させてから施工してください。
- ヤニ面に塗装する場合は希釈を少な目にし、1回目を塗装してから十分な乾燥時間をとり(23℃で約6時間)、2回目を塗装してください。
- 水性のシミやアク面は止まりにくい場合がありますので、水拭きを行い、十分乾燥させたうえで塗装してください。
- ヤニ、シミが著しく、水拭きなどで落ちない場合には、ロックカチオンシーラーマルチ ホワイトなどを下塗りして使用してください。
- ドアパッキンや緩衝材など可塑剤を含むプラスチック製品に乾燥した塗膜が接触したり、直接塗装を行ったりすると塗膜が軟化することがあります。そのような箇所への使用はできません。
- 使用後のハケなどの用具や、手に付いた塗料はできるだけ早く水で洗い落としてください。乾くと落ちにくくなります。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する場所では、塗膜の白化、ふくれなどが発生することがありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- この仕様はすべての工程においてホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆を使用しています。F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、素材も含む)を使用したり、各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合F☆☆☆☆仕様でなくなることがありますので注意してください。
- 上塗りに鮮やかなエロー系、レッド系、ブルー系、グリーン系の塗色で仕上げる場合、塗膜の隠蔽性が弱い傾向にあるため、先に隠蔽性のよい共色(近似色)で下塗り塗装した後、上塗り塗装してください。

## 安全衛生上および取扱上の注意

### 【製品の危険・有害性】

危険性のほとんどない製品ですが、目や呼吸器に入るとは避けてください。

### 【救急処置】

- 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

### 【取扱注意事項】

- 塗装中、乾燥中ともに換気を良くしてください。
- 取扱中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて保護手袋、保護めがね、保護マスクを着用してください。
- 取扱後は、手洗いおよびうがいを十分に行い、作業衣等に付着した汚れをよく落としてください。
- よくふたをして直射日光を避け、5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。

### 【施工後の安全性について】

- 本製品群は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの際は、施主に対して安全性に十分に注意を払うようにご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

安全データシート(SDS)をよく読んでから取り扱ってください。



## ロックペイント株式会社

東京営業部 / 〒136-0076 / 東京都江東区南砂2丁目37番2号 ☎(03)3640-6000 FAX (03)3640-9000  
大阪営業部 / 〒555-0033 / 大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号 ☎(06)6473-1650 FAX (06)6473-1000  
札幌営業所 / 〒003-0011 / 札幌市白石区中央一条4丁目3番48号 ☎(011)812-2761 FAX (011)812-9304  
仙台営業所 / 〒983-0044 / 仙台市宮城野区宮千代2丁目3番11号渡正ビル201 ☎(022)349-8677 FAX (022)283-3255  
西関東営業所 / 〒252-0131 / 神奈川県相模原市緑区西橋本1丁目15番16号 ☎(042)700-3111 FAX (042)700-3112  
名古屋営業所 / 〒454-0059 / 名古屋市中川区福川町1丁目1番地 ☎(052)351-6500 FAX (052)361-7433  
岡山営業所 / 〒701-1134 / 岡山市北区三和1000番34 ☎(086)294-1201 FAX (086)294-6966  
福岡営業所 / 〒811-0119 / 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3丁目2番1号 ☎(092)962-0661 FAX (092)963-1241

ロックペイントのインターネットホームページ <http://www.rockpaint.co.jp>

- 本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店：